

④ 鳥屋野潟公園スケートパーク整備事業

受賞機関 新潟県 新潟地域振興局 地域整備部
新潟県 土木部 都市局 営繕課

キーワード アーバンスポーツの場の提供、最新技術と職人技の融合、利用者目線の整備、にぎわいの創出

全建賞審査委員会の評価ポイント

県立都市公園内のスケートパーク整備。複雑な曲線、表面のコンクリート造形などが滑りやすさや楽しさ、安全性に影響するが、関係団体との協議に基づく設計のもと、CIMデータを基にしたマシンガイダンス技術、熟練技能者による特殊技術の活用や技術者との現場協議により、4か月の施工期間内にこれらの品質を確保できたことが評価された。

1. はじめに

近年、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機にスケートボードが人気を集め、新潟県内でも滑走する姿が見られるようになってきた。一方で新潟市周辺には本格的なパークがなく、小中学生や普及に取り組む団体などから、安心して楽しめる場所を求める声が高まっていた。

そこで、県では主要なスポーツ施設のある鳥屋野潟公園の一角に、初中級者を中心に幅広い層が安心して楽しめるパークを整備することとした。設計から工事まで、多くの関係者が綿密に連携して進めた結果、夏休み前の令和5年7月に愛称「AIRMANスケートパーク」としてオープンすることができ、人気の施設となっている。

2. 事業の概要

設計に際し、スケートボード関係団体の方々と幾度もの意見交換を重ねた。滑走エリア約2,000㎡の中で、階段等を配置したストリート、お椀型のボウルからなるパーク、雨天・積雪でも滑走可能な屋内の3つのエリアを配置することとし、協議しながら具体的な設計を固めていった。

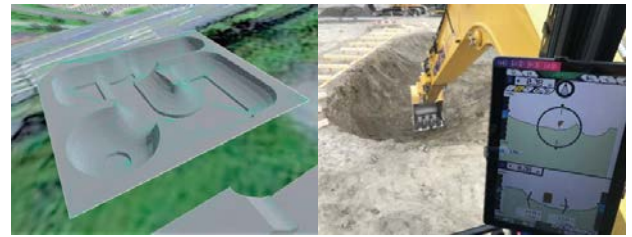
施工中も、スケートボードの専門知識を持つ現場の職人から意見を聴きながら、設計側とも何度も調整し、細部の造形にも工夫を重ねた。

複雑な曲線からなるボウルは、設計図面では表現しきれないため、CIMによる図面や3Dプリンターによる模型を作成し、関係者全員でイメージを共有した。また、丁張の設置も難しいため、マシンガイダンス技術を活用し、効率的かつ正確にバックホウ掘削を進めた。さらに、専門知識を持つ職人が特殊な定規やコテなどを使用し、利用者目線でコンクリート表面を造形することで、安全で楽しく、滑りやすい形状に仕上げることができた。

3. 事業の成果

オープン以降、10代未満から50代以上と、幅広い層の方々にご利用いただいている。気象条件の厳しい冬期

であっても、屋内エリアを含め平均約30人/日と活用され、県内のスケートボード環境の充実とともに、県民のスポーツ機会の創出につながっている。また、県外を含め遠方からの来場も多くあり、イベントも開催されるなど、地域振興にも多に寄与している。



CIMデータに基づくマシンガイダンスBH掘削



専門の職人による施工



ボウルの完成



オープニングイベントでの体験教室

4. おわりに

指定管理者により初心者を対象としたスクールが毎週開催され、小中学生を中心に人気となっている。今後も、幅広い層の方々に体験の場、ステップアップの場として利用され、スケートボードのすそ野がより広がっていくことを期待する。

賛助会員 (株)加賀田組 新潟支店、三井共同建設コンサルタント(株)